

2（12）県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

縦・横6本の連携軸、福島空港、小名浜・相馬港の機能や情報通信基盤を強化する取組を進める。

（単位：千円）

① 「浜通り軸」の早期復旧・整備と、生活を支援する道路の整備

1 緊急現道対策事業（土木部 道路管理課） 480,000

原発事故に起因する迂回交通や除染等により交通量が増加している路線において、緊急的な現道対策を実施する。

②災害に強く信頼性の高い本県の復興を推進する道路ネットワークの構築

1 国道115号相馬福島道路事業の負担金（土木部 高速道路室） 5,580,000

被災地の早期の復旧・復興を図るため、国道115号相馬福島道路の整備を促進する。

2 道路整備事業（土木部 道路管理課・道路整備課・まちづくり推進課） 27,017,140

東日本大震災等を踏まえ、災害に強い道路ネットワーク構築を実現するため、浜通りと中通りを結ぶ道路や津波被災地のまちづくり等を支援する道路の整備を推進する。また、落石対策等を進め、防災機能の強化を図る。

③本県の物流、観光の復興を支える基盤の整備

一新1 福島空港復興加速化推進事業（観光交流局 空港交流課） 71,988

本県の空の玄関口として復興を加速化させるため、国際定期路線の再開や近年交流が拡大している新たな地域へのチャーター便の運航支援を行うとともに、利用圏域である栃木県内からの需要の掘り起こし等を行う。

2 小名浜港東港地区国際物流ターミナル整備事業（土木部 港湾課） 3,552,000

国際バルク戦略港湾に選定された小名浜港の取扱量の増大、船舶の大型化等に対応するため、国と共同で防波堤・岸壁・泊地・橋梁等の整備やふ頭の埋立造成を行う。

④JR常磐線・只見線の早期復旧

一新1 JR只見線復旧推進事業（生活環境部 生活交通課） 19,806

東日本大震災及び平成23年7月新潟・福島豪雨災害からのJR只見線の早期全線復旧を加速させるため、沿線地域と連携した利活用促進及び広報事業を実施する。

⑤災害時における広域的な連携・連絡体制の構築

1 危機管理拠点整備事業（生活環境部 災害対策課）

※債務負担行為（63,795）

県民の安全・安心を確保するため、災害時において即応体制及び広域的な連携・連絡体制を確保することを目的とし、危機管理拠点に必要な情報機器等を整備する。

	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	7	36,720,934
その他の事業	7	17,909,763
合計	14	54,630,697